

平成18年度特別展図録『大井―海に発展するまち―』正誤表

以下の誤字・脱字、誤植がありました。訂正してお詫び申し上げます。

頁	該当箇所	誤	正
7	コーナー解説文6行目	大井御林浦を要し	大井御林浦を擁し
9	1-4釈文1行目	荒藺ヶ崎之儀者	荒藺ヶ崎之儀ハ
16	コーナータイトル説明文4行目	点屋駅	店屋駅
20	1-27解説文3行目	瓦谷戸瓦窯跡群	瓦谷戸窯跡群
21	1-28解説文2行目	へラ書きされおり	へラ書きされており
22	解説文3行目	江戸時代が	江戸時代より
24	コーナータイトル解説文7行目	鎌倉古道	鎌倉道
24	コーナータイトル解説文後ろから2行目	洞宗寺院	曹洞宗寺院
26	2-6解説文5行	「鎌倉古道」	「鎌倉道」
27	2-7解説文5行目	鹿嶋神社は庚(海側)	鹿嶋神社は東(海側)
28	2-10作者名	大槻彌弥左衛門作	大槻彌左衛門作
29	2-12釈文3行目	氏子繁昌ノ為	氏子繁昌之為
31	2-15釈文(本紙)6行目	右常林寺是是迄品川常行寺ニ御座	右常林寺是迄品川常行寺末寺ニ御座
31	2-15釈文(本紙)8行目	且旧号ニ相複し	且旧号ニ相復し
42	「碑文谷法華寺と大井郷」出典	『日蓮宗字学全書』	『日蓮宗宗学全書』
47	2-47解説文2行目	「寛政五癸丑天」とあり、	側面に「寛政五癸丑天」と刻まれており、
49	解説文3行目	不明とするもの(右)	不明とするもの(左)
53	2-60タイトルおよび解説文5行目	「鮫洲正観音菩薩道場」	「鮫洲正観世音菩薩道場」
57	3-2所蔵者名	宇田川家文書 品川歴史館所蔵	宇田川家文書 品川歴史館寄託
59	3-4所蔵者名	宇田川家文書 品川歴史館所蔵	宇田川家文書 品川歴史館寄託
64	3-18解説文3行目	四季三十九句	四季百三十九句
82	3-55解説文3行目	警備撤退したいのだが	警備兵を撤退したいのだが
85	再考・坂本龍馬と品川 14行目	同年九月	安政三年(一八五六)頃
87	コーナー解説文3行目	鉄道省	鉄道院
90	4-5タイトル	品川懸ビール	品川懸ビール
92	4-8タイトル	縮尺六百分之一	縮尺六百分ノ一
104	4-42	昭和29～32年頃	昭和32年(1957)頃
107	年表弘安7年	大杜・中富両郷	大杜・永富両郷
107	年表応永29年	応永29年(1422)	元応2年(1320)
108	年表天保5年	天保5年(1834)	天保5年(1833)
108	年表大正2年	鉄道省	鉄道院
110	資料リスト2-16	文化7年(1830)	文化7年(1810)
112	資料リスト4-5	品川懸ビール	品川懸ビール
113	資料リスト4-17	昭和46年(1971)	昭和42年(1967)頃